

記者発表資料

令和7年11月14日

教育庁文化財課保存活用班

担当 秋山沙織 (022-211-3683)

メール bunzaih@pref.miyagi.lg.jp

登録有形文化財（建造物）の登録について

令和7年11月21日（金曜日）、文部科学省文化審議会は、下記の宮城県内有形文化財（建造物）11件を新たに登録有形文化財として登録するよう、文部科学大臣に答申する予定です。

答申の結果、官報告示を経て登録されると、宮城県内の登録有形文化財（建造物）は全236件となります。

記

番号	名 称	所 在 地
1	阿部家住宅（遠入）主屋	石巻市北境字蒜沢
2	阿部家住宅（遠入）東土蔵	石巻市北境字蒜沢
3	阿部家住宅（遠入）米蔵	石巻市北境字蒜沢
4	阿部家住宅（遠入）板倉	石巻市北境字蒜沢
5	阿部家住宅（遠入）石蔵	石巻市北境字蒜沢
6	阿部家住宅（遠入）文庫蔵	石巻市北境字蒜沢
7	阿部家住宅（遠入）長屋門	石巻市北境字蒜沢
8	阿部家住宅（遠入）氏神社	石巻市北境字蒜沢
9	阿部家住宅（遠入）石鳥居	石巻市北境字蒜沢
10	旧石巻市大街道浄水場事務所	石巻市尾崎字鍛冶間
11	久須師神社拝殿（旧薬師堂）	石巻市尾崎字宮下

◆登録文化財制度の概要

登録文化財制度は、文化財保護法の一部を改正する法律（平成8年10月1日施行）によって導入された制度です。従来の文化財指定制度が、手厚い保護とともに、現状変更を原則禁止するなどの強い規制を行うのに対し、登録文化財制度は、届出制と指導・助言などを基本とする緩やかな保護措置を講じることによって文化財の活用を促し、国や地方公共団体の文化財指定制度を補完するものとなっています。

なお、制度の導入時は建造物のみを登録の対象としていましたが、平成17年の文化財保護法の一部改正により、建造物以外の有形文化財、有形民俗文化財、記念物にも対象が拡大、さらに令和3年からは無形文化財・無形民俗文化財も対象となっています。

● 各建物にかかる問い合わせ先

石巻市教育委員会生涯学習課 0225-95-1111（内線5056）

今回登録される建造物の概要

<阿部家住宅（遠入）主屋、東土蔵、米蔵、板倉、石蔵、文庫蔵、長屋門、氏神社、石鳥居>

市街地北西の農村集落の最上段にある肝入を務めた旧家。敷地南に長屋門を、その北側に主屋を構える。主屋の東方には4棟の蔵があり、さらに東方の山林のなかには丁寧なつくりの石鳥居を構える氏神社を配する。主屋や米蔵などの屋根はスレートで葺かれており、特徴的な歴史的景観をつくる。

名 称	建築年代
あべけじゅうたく といり おもや 阿部家住宅（遠入）主屋	明治39年／昭和35年・平成8年・同24年改修
特 徴	
集落の最上段にある、肝入^{きもいり}を務めた旧家の主屋。屋根は入母屋造りのスレート葺^{いりもや}。平屋建てで、南面に切妻屋根^{きりづま}の旧玄関があり、東に台所棟^{ごひらばしら}が建つ。軸部は五平柱^{なげし}を用い、せいの高い長押^{すきうるしぬり}を打ち、透漆塗で仕上げる。スレート葺の豪壮な主屋で、地域性をよく示す近代和風住宅である。	
	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
阿部家住宅（遠入）東土蔵 あべけじゅうたく とおいり ひがしどくら	慶応3年（1867）／大正前期・昭和後期改修
特 徴	
主屋の東側に東面して建つ二階建ての家財蔵。屋根は切妻造のスレート葺で、置屋根形式である。正面には掛子塗りの戸を開き、下屋を付す。外壁は漆喰塗で、腰は海鼠壁となっている。内部は柱を密に立て、太い梁で棟木を受ける。粘板岩の一丁材を用いた下屋柱が目を引く土蔵である。	
	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
阿部家住宅（遠入）米蔵 あべけじゅうたく とおいり こめぐら	明治22年／大正前期改修
特 徴	
主屋の東側に南面して建つ二階建ての米蔵。屋根は切妻造のスレート葺で、置屋根形式である。正面の下屋には軒唐破風状の起りを付す。外壁は全面が海鼠壁となっており、下屋や二階窓の庇内部まで漆喰を塗る。内部は側廻りに柱を密に立てる堅牢なつくり。外観が重厚な土蔵である。	
	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
阿部家住宅（遠入）板倉	明治 11 年／大正前期・令和 3 年改修
特 徴	
主屋の東側に南面して建つ二階建ての^{もみぐら}^{きりづまづくり}^{おきやね}。屋根は切妻造の置屋根形式で、元はスレート葺であったが現在は鉄板葺き。戸口は正面西寄りにあり、^{うできひさし}腕木庇が付く。屋根の^{めんどいた}面戸板を彫刻で飾るなど丁寧なつくりである。内部に^{がわぼしら}側柱を密に立てた当地特有のつくりの板倉である。	
	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
阿部家住宅（遠入）石蔵	昭和 8 年
特 徴	
主屋の北東に南面して建つ農具などの収納蔵。二階建てで、屋根は^{きりづまづくり}切妻造のスレート葺で、置屋根形式である。正面に下屋を付す。^{げや}外壁はモルタル洗出仕上げで、腰は^{あらいだし}目地を切って石造風とする重厚な外観の土蔵である。	
	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
阿部家住宅（遠入）文庫蔵	昭和前期
特 徴	
主屋の西側に東面して建つ平屋建ての文庫蔵。屋根は切妻造でスレート葺。正面に腕木庇を付す。外壁は漆喰塗りで軒蛇腹を廻らせ、腰はモルタル洗出仕上げで、目地を切り石造風とする。庇の鉄製ブラケットや腰をめぐる二段の水切など、小規模ながら凝った意匠の土蔵である。	
 	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
阿部家住宅（遠入）長屋門	明治後期／大正前期改修
特 徴	
敷地の南面に位置する平屋建ての長屋門。屋根は寄棟造でスレート葺。外壁は下見板張である。東西に細長い建物の東寄りに門口を開く。門口の東西には部屋があり、西側の部屋はかつて馬屋だった。小屋組は角材を杈首に組む特徴的なつくり。旧家の格式ある屋敷構えをつくる長屋門である。	
 	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
阿部家住宅 (遠入) 氏神社 あべけじゅうたく とおいり うじがみしか	昭和 36 年
特 徴	
敷地東側の高台に建つ氏神を祀る小社。屋根は切妻造の鉄板葺。木造平屋建てで、背面にコンクリートブロック造の突出部がある。内部は板敷の一室となっており、突出部に宮殿を安置する。宮殿は二間社流造で屋根はスレート葺。全体に簡素なつくりながらも、敷地の景観をつくる氏神社である。	
	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
阿部家住宅 (遠入) 鳥居 あべけじゅうたく とおいり とりい	大正 2 年
特 徴	
氏神社に至る石段の中腹に建つ鳥居。粘板岩を用いた明神鳥居で、内側に傾けた柱を貫で固め、貫の中央に額束を立てる。柱の上には反りのある島木と笠木を載せる。小社に相応しく小振りながらも丁寧なつくりの石鳥居で、敷地東方の歴史的景観をつくる。	
	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
旧石巻市大街道浄水場事務所 きゅういしのまきしおおかいどうじょうすいじょうじむしょ	昭和5年頃／昭和54年改修、令和6年移築
特 徴	
大街道浄水場事務所だった建物で、昭和54年に水道資料館に改修され、令和6年に長面浦沿岸の現在地に移築された。木造平屋建てで、屋根は高さのある腰折屋根でスレート葺。外壁には下見板を張り、南に玄関ポーチを設ける。内部は中廊下の左右に部屋を配す。地域の水道施設の歴史を伝える貴重な建物である。	
 	
【写真：石巻市教育委員会提供】	

名 称	建築年代
久須師神社拝殿（旧薬師堂） くすしじんじやはいでん きゅうやくしどう	文久2年（1862）／明治11年・同29年・昭和34年改修
特 徴	
長面浦北岸にある神社の拝殿。江戸時代には薬師如来を祀る薬師堂だったが、明治時代に久須志神社と名称を改め、拝殿に改装されたという。屋根は入母屋造でスレート葺。正面には一間向拝を付し、残り三方には擬宝珠高欄付の縁が廻る。組物は禅宗様の尾垂木付三手先で、軒は二軒の扇垂木と技巧を凝らしたづくりである。地紋彫が施された向拝柱など要所は彫刻で飾られる。スレート葺の希少な拝殿である。	
 	
【写真：石巻市教育委員会提供】	